

10 障害児教育

1 研究テーマのとらえ方

(1) 養護学級の教育目標と「自立に向かう子ども」像

本学級では、「生活力のある児童」を目指している。「生活力のある児童」の姿として次の3つの力を描いている。

- ・ことばや行動で自己を十分に表現し、主体的に行動する力
- ・さまざまな集団やいろいろな人とのかかわり合いの中で、生活や学習をする力
- ・いろいろな場面で判断したり、工夫したり継続したりして生活や学習をする力

この3つの力を総合すると「児童がその子なりの考えをもち、よりよい方向を目指して進んで考え、判断し、表現していく（行動していく）力」であり、この力をもつ児童が「自立に向かう子ども」と考える。

(2) 児童の自己決定

本学級では、児童の実態を次のように捉えて、活動の中に自己決定する場を設定していった。

児童の実態	支援の方法	
自分の日常的な生活の中でしたいこと好きなこと（物）が大まかにある。	児童の日常生活の中で一人一人の好みの傾向を捉え、活動の中に組織していく。	活動していく中で、児童が嫌いなこと、拒否しようとしていることについて明らかに把握していく。
自分の日常的な生活の中でしたいこと好きなこと（物）が確定している。		
自分の日常的な生活の中で具体的な物や活動を2者の中から選ぶ。	選択肢の内容を一人一人の理解に応じて具体的に提示する。	児童が選択しなかったことについて、児童がしなくなかったことほしくなかったことを言語化していく。
学習や活動場面で具体的な2者の中からしたいことを選ぶ。		
学習や活動場面で具体的な2者以上の中からしたいことを選ぶ。		
学習や活動をイメージして、2者以上の中からしたいことを表す。	これまでの経験が想起できるような手がかりを提示する。	児童がイメージしたことは、違うことも提示して、選択できるようにしていく。
学習や活動をイメージして、これまでの経験の中からしたいことを表す。		
自分の生活の中でこれまでの経験を生かして進んで活動していく。		

「児童が選択すること＝自己決定」という捉え方では、真に生きる力につながっていくものでは

ないと考えられる。すなわち、児童が選択したことが次の活動につながるものであること、本質的な活動内容につながる場所での選択がなされなければならないということが「自己決定」であると捉えている。

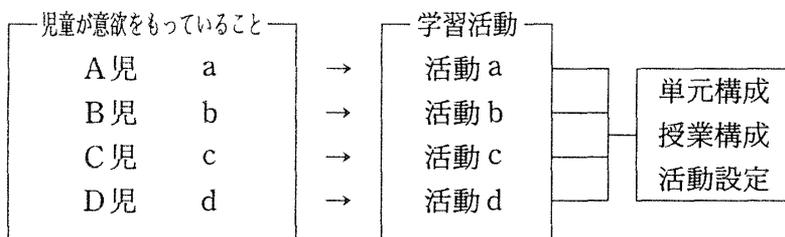
そこで、活動を一連の流れで見るとき、児童が自己決定をしていくための基になるイメージを形成する活動、児童が自己決定をする活動といったようなポイントを絞った設定をしていくことが必要であると思われる。

一方、児童の生活全般については、「こういう場面で自分で決めて活動する。」といった一人一人の目標をさらに明確にし、そのことにむかっての活動が設定されていく必要があると思われる。

2 研究推進について

(1) 学習活動の設定

児童が「自分で決めて～しよう。」と主体的に自己決定していくためには、学習活動そのものに意欲的に取り組んでいることが必要である。そこで、日常生活の中で、一人ひとりの児童が、主体的に行っていることは何であるか、どのような活動を好んでいるか、どのような物を好んでいるかといったことを、再度見直し、そのことを基にした単元構成や学習活動の設定を行っていくものである。



(2) 個々の実態と自己決定の場

児童がどのように自己決定していくか、前述したように、一人ひとりの実態は異なっている。したがって、自己決定の場は、個々の実態によって設定される必要がある。そこで、単元全体の中のどこで自己決定するか、1単位時間の中のどこで自己決定するかを明らかにしていくことにした。そして、個々の目標行動の中に、自己決定に関する内容を設定していくようにした。

支援の方法としては、昨年度から引き続き、児童が自分のしたいことを自己の判断で決定できるように、選択肢を具体的に示していくようにする。それと同時に、したくないこと、嫌いなことも明確に意識していくような支援の手だてを考えていくものである。

(3) 児童の自己決定の意味づけ

自己選択をすることが、児童の生きる力となっていくためには、積極的な自己選択が行われていくことが重要である。そこで、「なぜ、これを選んだのか」という一人ひとりの選択行動の意味づけが必要になってくると思われる。児童の選択行動については、次のような意味が考えられる。

- ・偶然手にした方を選んでいる。
- ・好き、嫌いという好みの視点が明らかになって選んでいる。
- ・「どちらも好きだけれどこちらを選ぶ」という意識を持って選んでいる。
- ・過去の経験から、活動の見通しの持ちやすい方を選んでいる。
- ・自分にとって乗り越えなければならない課題の有無で選んでいる。
- ・友だちや指導者の模倣によって選んでいる。
- ・友だちや指導者の活動を見て見通しを持った方を選んでいる。

〈参考文献〉北海道教育大学附属札幌小・中学校「ふじのめ学級」研究紀要、1996

竹田契一、里見恵子編著、インリアルアプローチ、日本文化科学社、1994